



東京地区生コンクリート協同組合
〒103-0027東京都中央区日本橋3丁目2番5号
電話番号 (03)3271-2181
URL:https://www.t-namakyo.jp/
発行責任者 高村 尚

＝協組の動き＝

(6月)

8日(月) 理事会(No. 1124)
22日(月) 理事会(No. 1125)



休刊のお詫び

新型コロナウイルス対策の一環としてやむなく4月・5月号を休刊させていただきました。読者の皆様には大変ご心配ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。7月以降の予定につきましてはHP等でお知らせします。

2019年度出荷実績と20年度展望

—当協組発足以来過去最低出荷に—

当協組の2019年度の出荷実績は、次のとおりとなりました。

通期の出荷数量は、前年比73.1%の2,598千 m^3 でした。

3,000千 m^3 割れの出荷は、2016年度の2,760千 m^3 以来、3年振りで、この主な要因は、東京五輪・パラリンピック向けの競技場・選手村などの関連施設工事がピークアウトしたことや大手町・虎ノ門並びに渋谷など都心部での再開発工事が本格化する迄の端境期となったことが挙げられます。

半期ごとの出荷数量は、上期は前年比81.1%の1,421千 m^3 でした。東京五輪・パラリンピック関連工事が早期にピークアウトしたこと及び、2018年度下期に始まった現場都合(鋼材やボルトの入手困難)による再開発工事向けの数量減が継続していることが出荷低調の要因とされます。

下期は、前年比65.3%の1,177千 m^3 でした。引き続き都心部での再開発工事向け数量が減少していることや、

2020年度に開催予定であったオリンピック・パラリンピックの影響を見越して工事を手控えたことによる需要減が主な要因と思われます。

2020年度の需要想定は、開催予定だったオリンピック・パラリンピック後に麻布台・品川地区及び池袋などの都心部の再開発工事が再開される予定で、3,300千 m^3 といたしましたが、新型コロナウイルスの収束時期や2021年に延期されたオリンピック・パラリンピックの開催動向によっては、厳しい状況が続くことが考えられます。

新型コロナウイルスは、当協組組合員工場の操業にも大きく影響しています。さらに、原材料や産廃処理の業者からのさらなる値上げ要請や生コンクリート輸送能力の維持確保のコスト等が経営を圧迫している状況です。よって、2020年4月1日引合受付分からの価格値上げについては、早期に満額確保するとともに、価格が決定していない案件については、納入対応しない方針です。

バレーボール

水野 達郎



東京生まれで幼少のころから「巨人、大鵬、卵焼き」の世代で育ったためか、何の迷いもなく小学校のころからスポーツと言えば野球をやっていた。息子たちにも野球をやって欲しいとの気持ちがあり、小さいころからキャッチボールやノックなど一緒にやっていたが、あまり野球センスがなく諦めた。次男、三男は中・高・大とバレーボール部に入っていた。二人ともあまり背が伸びなかったためか、次男は高校からリベロ、三男は中学からセッターのポジションであった。

自分自身、バレーボールにはあまり縁がなく、中・高時代の体育の授業でやる程度、あとはオリンピックの試合をテレビで見ると細かいルールにもあまり関心がなかったものが、暇な時などたまに息子たちの試合を見に行くようになって、徐々にバレーボールの面白さにはまってきたような気がする。

最近では試合を見に行くことも無くなったので、テレビで男女問わず日本代表の試合や春高バレーの試合などを見ている。ただ、日本ではバレーボール人気はあまりパツとせず、海外で行われる国際大会や春高バレーなどの試合は深夜の時間帯に放映されることが多いのが残念である。最近以前より人気は出てきたように思うが、もっと強くなってくれれば自ずと人気が出てくる

であろう。今でも結構強いとは思いますが。

実は、今年予定されていた東京オリンピックでも、色々な種目・試合を申し込んだところ、唯一男子バレーボール準々決勝の1試合だけが当たった。どこのチームが対戦するのか全く分からないが、とても楽しみにしていたところここ最近の新型コロナウイルスの世界的な爆発的拡散により、オリンピックが約1年間延期になってしまった。来年夏に観戦できるのを楽しみにしておこう。

4月7日に7都府県、16日には全国に発令された緊急事態宣言が、5月14日より段階的に解除され、5月25日に全国ですべて解除された。しかしながら、これでコロナ禍が収まった訳ではなく第2波、第3波の襲来が危惧されていることから様々な自粛が引き続き要請されており、完全に元の生活に戻るのにはまだまだ時間がかかりそうだ。来夏のオリンピックを開催するかどうかについても10月に最終決定すると言われている。何とか早く終息して貰いたいものだ。

皆さん、気を抜かずに、手洗い・うがいの励行、マスクの着用、更には3密を極力避けることを継続して、コロナウイルスに打ち勝って行きましょう!
(株)東京菱光コンクリート 取締役社長)

当協組出荷実績 (m³)

	(出荷数量)		(引合、成約、契残)	
	5月(実績)	6月(想定)	5月(実績)	
	前年比	前年実績比	前年比	
大型	129,516 m ³ 62.3%	240,000 m ³ 105.4%	引合 14,759 m ³ 8.3%	
小型	26,438 m ³ 89.1%	30,000 m ³ 91.4%	成約 13,434 m ³ 9.4%	
計	155,954 m ³ 65.6%	270,000 m ³ 103.6%	契残 4,335,607 m ³ 152.1%	

	2019年度	2018年度	前年比
	実績	実績	(%)
上期	1,420,836	1,752,146	81.10%
下期	1,177,450	1,803,268	65.30%
年度	2,598,286	3,555,413	73.10%

第44回 通常総会 適正価格の獲得推進と需要減少への対応を模索

第44回通常総会が5月18日、当協組会議室において開催されました。議長には関東宇部コンクリート工業(株)代表取締役の田中義克氏が選任され議案の審議が行われました。なお、本年は新型コロナウイルス感染防止のため、組合員各位に対し事前に議決権行使書により各議案に対する賛否を書面に回答頂くことといたしました。

総会は斎藤理事長の挨拶の後、2019年度の事業報告並びに決算関係書類について審議され原案通り承認されました(以下Ⅰに詳述)。

続いて、2020年度の事業計画並びに収支予算やその他の議案が審議され全て承認されました(同じくⅡ)。

最後に、2名の理事交代が承認されました(同じくⅢ)。

Ⅰ. 2019年度事業報告

① 日本経済が緩やかな回復基調を示すなか、2019年度の生コンの全国総出荷量は81,959千m³、前年比95.9%となりました。

そうした環境下で我が東京協組管内においては年度当初の需要想定3,450千m³に対し、出荷実績は2,598千m³、

前年比73.1%と大きく前年を割り込みました。

東京オリンピック・パラリンピック関連需要が想定以上に早期に終息したことや、都心部の大規模再開発工事の本格化までの端境期となったことによるものと思われま。

② 市況面については、2017年12月に実施した1,000円/m³の値上げについては、ほぼ満額受け入れられました。しかしながら、その後の原材料費・輸送費・人件費等のコストアップに値上げ効果が吸収されおり、次年度は1,000円/m³の値上げに取り組むこととしております。加えて残コン・戻りコンによる廃棄物処理費も大幅に上昇しており、発生削減への取り組みを更に推進していくこととしております。

③ 供給面においては、今夏の東京オリンピック・パラリンピック大会期間中における工事調整や交通規制に伴う出荷調整について、関係各方面との協議を進めて参りました。また、昨秋に関東地区を相次いで襲った超大型台風による重大災害の発生に伴い、「異常天候時の出荷対応」に関する当協組のガイドラインを制定し、関係各方面に発信致

しました。

④ この他、人材確保や働き方改革への対応が喫緊の課題となっており、当協組では生コン産業のイメージアップ推進の為、昨年4月より新たに「働き方改革」、「IT 推進」、「女性活躍推進」の各ワーキンググループを発足させ、各種の改革や効率化に繋がる施策の検討・実施に取り組んでおります。併せて4月にホームページを開設し、当協組の諸施策等のタイムリーな情報発信に努めて参りました。

Ⅱ. 2020年度事業計画

2020年度の東京協組管内の生コン需要については、下期には都心部の大規模再開発工事の本格化等により大幅に回復するものと見込み、通期の需要想定を3,300千m³(前年比127.0%)としております。

こうした状況下において当協組としては次の4項目を本年度の最重要課題として取り組んで参ります。

① 適正価格の獲得

更なる原材料費・輸送費・人件費等のコストアップに対処する為、本年4月1日引合受け分以降の販売価格の1,000円/m³改定(値上げ)を実施致します。

② 安定供給の確保

適正価格獲得の前提として、高品

質生コンの安定供給実現の為、これまで以上に組合員、販売店を初めとする取引先各社との連携強化を図って参ります。

③ 残コン・戻りコン及び出荷キャンセルの削減

有償化の実効が上がりことから本年4月1日以降出荷分より料金の改定(引き上げ)を実施致します。

④ イメージアップの推進

働き方改革、女性活躍推進など喫緊の課題に対応する為、今後もワーキンググループの活動を維持・強化するとともに、ホームページの内容充実を図り、業界のイメージアップと人材確保に注力して参ります。

しかしながら、「新型コロナウイルス」の感染が全世界に急速に拡がり、東京オリンピック・パラリンピックの開催も1年程度の延期が決定され経済活動の停滞による大幅な景気減速が危惧されております。今後の展開次第では期中において状況に応じた諸施策の検討・実施をして参ります。

Ⅲ. 理事の交代

辞任 高橋 精 桐生レミコン(株)
山崎 正弘 日立コンクリート(株)
就任 小倉 誓剛 桐生レミコン(株)
藤本 学 日立コンクリート(株)

きっと減らせる残コン戻りコン

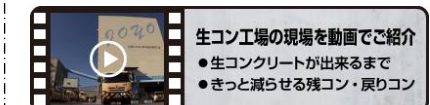
生コン教育動画を作成

当協組はこれまで施工者や登録販売店の皆様のご協力のもと残コン・戻りコンの削減に取り組んで参りました。その一環として、2014年に戻りコンの有償化を導入しました。

当時、出荷量の4%台を占めていた残コン・戻りコン比率は現在も3%台で推移し、減少傾向にあるとはいえません。

「限られた資源の有効活用」「廃棄物発生抑制による地球環境の保全」「働き方改革」に繋がる戻りコン・残コンの削減に向けた取組みを更に加速するため、この度、全国生コンクリート工業組合連合会関東1区地区本部の後援を頂き株式会社セメント新聞社編集のもと動画を作成しました。

内容は「生コンクリートが出来るまで」「きっと減らせる残コン・戻りコン」の二部構成になっています。また、著作権フリーとしていますので当協組ホームページからダウンロードし、皆様で積極的に活用下さいますようお願い致します。



2020年度 登録販売店 32社

当協組は2月から3月にかけて契約更新に関する数量基準と共販姿勢等を踏まえて登録販売店32社と2020年度の取引方針等につき個別

に話し合いを行い、全社と登録販売店契約を締結しました。これからも登録販売店との信頼関係をより一層深め連携を強化してまいります。

1 芦沢商事(株)	12 スミセ建材(株)	23 日立資材販売(株)
2 安藤物産(株)	13 西武建材(株)	24 (株)ファノス
3 上原成商事(株)	14 大同建材産業(株)	25 藤田商事(株)
4 ウチダ商事(株)	15 太平洋セメント販売(株)	26 (株)ブラスト
5 宇部建設資材販売(株)	16 塚本建材(株)	27 (株)三田商店
6 太田博(株)	17 (株)土金	28 三谷商事(株)
7 (株)オダ	18 ティーシートレーディング(株)	29 三菱商事建材(株)
8 三信通商(株)	19 テッケン興産(株)	30 (株)三好商会
9 ジャパン建材(株)	20 東信建材(株)	31 山一興産(株)
10 新ケミカル商事(株)	21 トクヤマ通商(株)	32 吉田建材(株)
11 住商セメント(株)	22 野原産業セメント(株)	(五十音順)

2019年度コンクリート主任技士合格者

社名	氏名	社名	氏名
三多摩アサノコンクリート(株)	山口 健志	(株)東京菱光コンクリート	清水 宏樹
〃	木村 将吾	宮松エスオーシー(株)	黒柳久美子

2019年度コンクリート技士合格者

社名	氏名	社名	氏名
(株)内山アドバンス	菰田 恵太	第一コンクリート工業(株)	石塚 健人
〃	荒木 康平	〃	神田 和明
〃	小山 玲偉	(株)大角	黒田 雅晴
内山コンクリート工業(株)	重藤 晃司	(株)多摩	荻野 貫
〃	後嵩 西匠	(株)東京菱光コンクリート	鈴木 謙一
関東宇部コンクリート工業(株)	井手 凌広	船橋レミコン(株)	小杉 直幹
〃	蓮見 秀夫	〃	石塚 幸太
〃	長尾 歳徳	松戸生コンクリート(株)	真船 拓也
		〃	石山 恵